

立待月

満月から2日後の月で

十七夜（じゅうしちや）とも称されます。
この名称は、満月の後の夜が更けるまで月が昇るのを静かに待つ風情から生まれました。
立待月の姿は、夜空に静かに昇る月を待つ古の日本人の情景を思い起こさせ、月を愛でる文化の深さを物語っています。
今年の8月10日は、立待月の日。
19時34分に立待月が昇り始めます。
コンサートを聴きながらお待ち下さい。



鯖江市制70周年・松平昌親公吉江藩主就任(吉江藩成立)380年記念事業

“梵”DE楽しむ 立待月 観月の夕べ2025



2025.8.10 (日) 会場：旧JA鯖江北支店 駐車場
住所：鯖江市杉本町8-3-1

- 15:30~17:00 近松わくわく講座 『曾我五人兄弟』を読む
◆講師：三好修一郎 福井大学名誉教授 ◆会場：立待公民館 1階研修室 1
- 18:00~20:00 屋台・マルシェ
- 18:30~18:45 “梵”無料で試飲できます。竹灯籠点灯
- 18:45~20:00 二十五絃箏(喜羽美帆)&ヴァイオリン(入山ひとみ)コンサート
◆テーマ：月夜を楽しみに待つ。月の満ちるのを指折り数えながら待つ。
人の気持ちの満ちるのを待つ。「月待ちて」は、さまざまな「満ちていく」思いを現すイメージです。
◆小雨時 会場：旧JA鯖江北支店 2階和室
◆花火が中止の場合の会場：立待公民館 講堂
- 20:00~20:10 「立待月」ライジングカウントダウン
- 20:00~20:15 “梵”無料で試飲できます。
- 19:30~20:15 天体望遠鏡で立待月観測会
◆申込み不要 ◆指導者サポートあり ◆雨天中止
- 20:15~20:30 吉江藩主松平昌親公藩主 就任 380年記念380発の花火打上げ
◆小雨決行・大雨強風の場合は、開催を延期し、10月4日(土)に実施



吉江藩の成立と松平昌親（まつだいら まさちか）公

1645年、福井藩三代藩主・松平忠昌の逝去に伴い、その子である松平昌親 公が2万5千石を分与され、ここに吉江藩が誕生しました。注目すべき点として、浄瑠璃作家・近松門左衛門の父である杉森信義も、吉江藩の家臣であったことです。その後、松平昌親公は吉江藩主としてだけでなく、福井藩の五代、七代藩主も務めました。

主催：近松の里づくり推進事業会議事業 / 共催：立待地区区長会 【駐車場】鯖江市弓道場駐車場 / 杉本天満神社 / 立待小学校 / 立待公民館
協力：福井県農業協同組合鯖江北支店 / 立待地区青少年育成協議会 / (資)加藤吉平商店 問合せ先：立待公民館 ☎ 0778-51-3376

本事業は、公益財団法人ふくしん地域振興協力基金からの助成を受けて実施しています。

二十五絃箏 喜羽美帆 & ヴァイオリン 入山ひとみ コンサート

テーマ：「月待ちて」

8月10日(日) 開演 | 18:45~20:00 料金 無料

会場：旧JA鯖江北支店駐車場 ※ 雨天時会場：旧JA鯖江北支店2階和室

箏・二十五絃箏・三絃奏者

喜羽美帆

幼少よりピアノを始め、7歳より箏・二十五絃箏・三絃を二代・三代野坂操壽氏に師事。NHK邦楽技能者育成会第42期卒業。地唄箏曲松の実会師範、(公社)日本三曲協会会員、生田流協会会員。(特非)日本音楽集団団員。川井郁子氏と和楽器・西洋楽器による混合オーケストラ「オーケストラ響」メンバー。日本全国のみならず、世界各国で箏を演奏し、その魅力を伝えている。

ヴァイオリン

入山ひとみ



10歳よりVIOLINを始める。

立命館大学・京都大学のジャズ研入部をきっかけにバイオリンを再開し、即興演奏を始める。京都大学 DARK BLUE NEW SOUNDS ORCH.に参加したことからDUKE ELLINGTON ROLAND KIRKの影響を受ける。現在、JAZZ VIOLINISTとして多方面で演奏や指導を行う。また、JAZZでの自由な発想を軸にテーマパークなどで様々な演奏パフォーマンスも行う。